

# ソーシャルビジネス研究会 報告書(案) 概要版

---

平成20年3月

# 1. 検討の背景と目的

## 【背景】

少子高齢化や環境など様々な社会的課題の顕在化  
社会的課題をビジネスとして事業性を確保しながら自ら解決しようとする活動( )の活発化  
本研究会ではこうした事業について「ソーシャルビジネス」(SB)という呼称を用いる  
行政の協働パートナー、新たな雇用創出、地域及び社会・経済全体の活性化等の期待  
海外(英国等)におけるSB支援策や官民双方のSBに対する意識の高まり

わが国においてはSBの社会的認知度が低い  
SBを積極的に社会的課題解決の事業主体として捉えて支援していく体制が整備されていない状況

## 【目的】

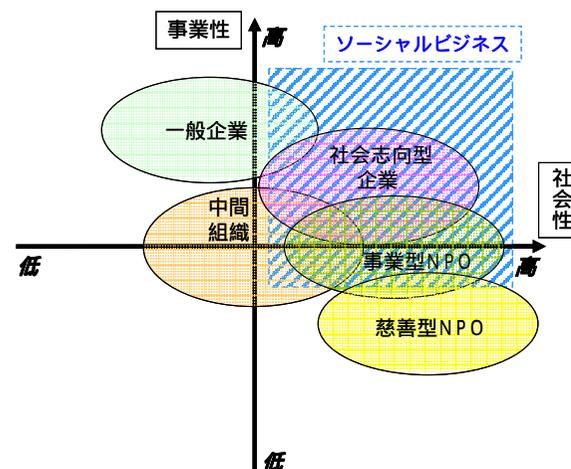
我が国におけるSBの現状整理 / 今後SBが発展していく上での課題抽出 / 課題解決策の整理

# 2. ソーシャルビジネスの定義

**社会性** 現在解決が求められる社会的課題に取り組むことを事業活動のミッションとすること。

**事業性** のミッションをビジネスの形に表し、継続的に事業活動を進めていくこと。

**革新性** 新しい社会的商品・サービスや、それを提供するための仕組みを開発すること。また、その活動が社会に広がることを通して、新しい社会的価値を創出すること。

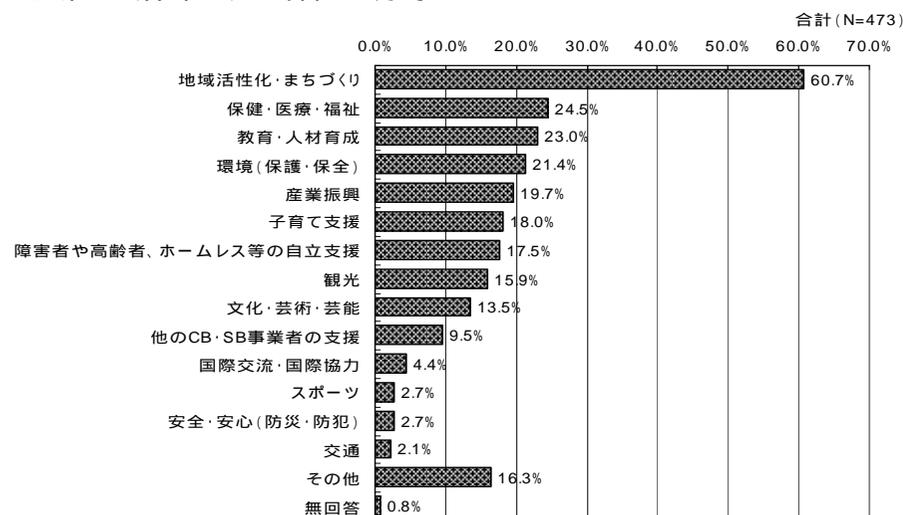


### 3. ソーシャルビジネスの現状

#### 【事業者アンケート調査（注1）の結果（抜粋）】

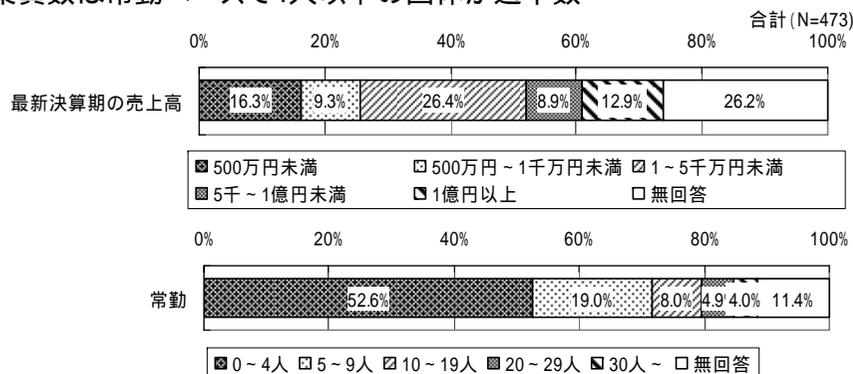
##### < 主な対象事業分野 >

…地域の生活・社会に密着した分野



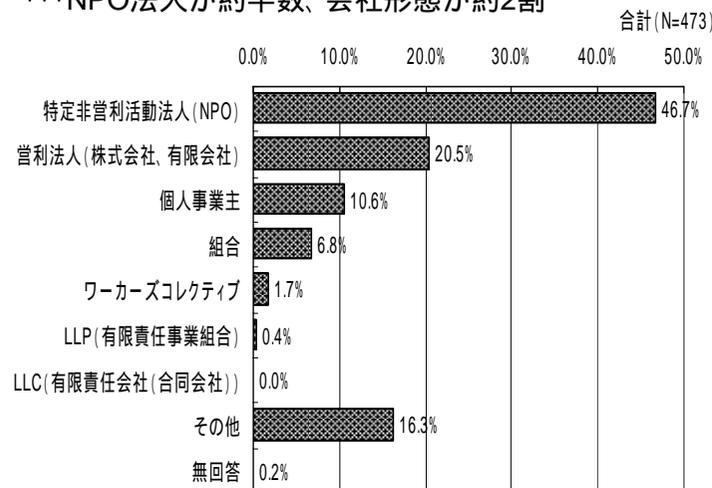
##### < 収入及び従業員数 >

…1,000～5,000万円未満である団体が26.4%と最多、1団体当たりの従業員数は常勤ベースで4人以下の団体が過半数



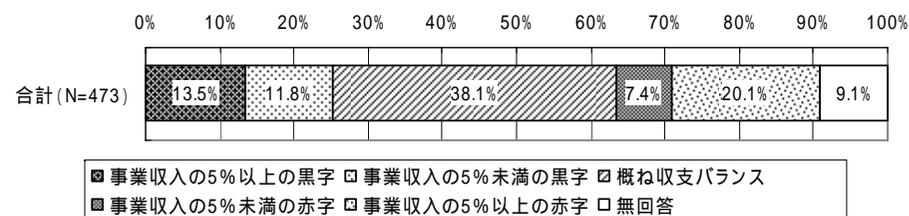
##### < 組織形態 >

…NPO法人が約半数、会社形態が約2割



##### < 収支状況 >

…損益は概ね収支バランスが39.1%と最多



##### 【参考：ソーシャルビジネスの市場規模（推計）】

我が国のSBの市場規模は約2,400億円、事業者数は約8,000、雇用規模は約3.2万人

注1:「ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス事業者アンケート」(2007年12月)。発送数は1,287団体、有効回答は473団体、有効回答率は36%

## 4. 課題と政策対応の方向性

### 【課題】

#### 社会的認知度の向上

- ・消費者アンケート調査によればSBの社会的認知度は低い

#### 資金調達の円滑化

- ・SBの多くは事業性の低い領域で活動しており、資金調達が困難

#### SB等を担う人材の育成

- ・イノベーションやマネジメントを担う専門的人材の確保が困難

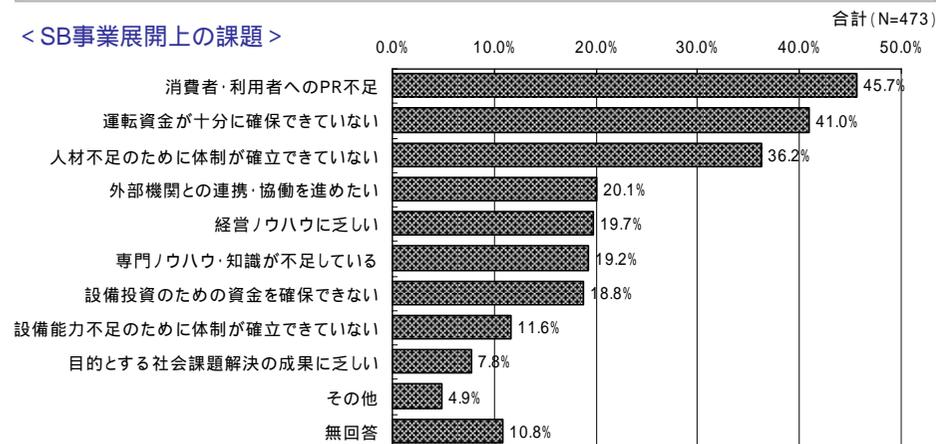
#### 事業展開の支援

- ・事業経営の経験や税務・会計・法律等のソフト面や事務所等のハードが不足

#### SBの事業基盤強化

- ・SB事業活動評価の指標、新しい組織形態の評価・認証の枠組みの必要性

#### < SB事業展開上の課題 >



### 【支援にあたっての基本的考え方】

#### ソーシャルビジネスの事業展開に対応した支援

- ・SBの事業展開プロセスに応じた支援と事業の継続性確保の必要性

#### SB事業展開に際しての各主体の連携

- ・セクターを越えた幅広い連携の必要性(行政(国、自治体)、企業、商工団体、経済団体、中間支援機関、金融機関、大学、住民等)

### 【今後の政策対応の方向性】

#### SB事業者が生まれ、育つための土壌の創出、意識の改革

- ・SB認知度向上のためのキャンペーンの推進、成功事例集の作成等
- ・優れたSB事業者モデルの他地域への展開促進

#### 社会的課題を、関係者全員で共有し、解決する場作り

- ・具体的社会的課題の解決、制度的課題の検討、広報等を担うことができ、SB事業者・支援者の双方がメリットを得られる関係者連携の「場」(協議会等)作り(地域レベル及び全国レベル)
- ・中間支援機関の能力強化及びネットワーク化に対する支援

#### 既存の中小企業施策のSB振興への活用

- ・経済産業省や地方自治体が有する中小企業関連施策(商工会議所等による経営指導、中小企業向け補助金の交付、信用保証の付与等)の対象へのNPOの追加

#### 資金調達の円滑化に向けた環境整備

- ・SB事業者の事業活動等に関する情報公開ガイドラインの策定
- ・SB支援者によるSB事業者の理解向上及び基礎的な投融資ノウハウの共有への支援、特色ある投融資等資金支援の表彰・紹介
- ・金融機関、一般企業、国・地方自治体に加え、地域住民も参加するSB支援ファンドの構築

#### SB等を担う人材育成の強化

- ・高校、大学・大学院等における専門的な教育の充実
- ・成功SB事業者の下でのSB管理運営に関する実施訓練の機会拡充及び専門的支援人材の育成
- ・SB事業者と大学等、企業、中間支援機関等、異なるセクター間での高度人材の流動化促進

#### SBの事業基盤強化に向けた仕組みづくり

- ・SB事業者の社会性を合理的に評価できる指標の開発、協議会等を通じた地域住民が参加する評価方法の検討
- ・英国CIC制度や米国民間認証等の仕組み詳細・執行状況、我が国における既存組織形態のメリット・デメリット及び具体的ニーズを踏まえた法人格/認定スキームの必要性について検討